

# 観点別学習状況評価問題

## 《解答》

### 第1単元 大きい数のしくみA

問題番号	配点	解 答(許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	20 (各5)	① 一兆 ② 十億(10億、 1000000000) ③ 4 ④ ①	<b>知技</b> 兆の位におよぶ大きな数について、各位の意味や構成を理解している。	右から4桁ごとに区切りの印をつけ、万、億、兆と位が変わることを確認する。
②	30 (各10)	① 3946210000 ② 18503360000000 ③ 7000500030000	<b>知技</b> 一億や一兆を超える大きな数を数字で表すことができる。	位取り板にあてはめて考えられるようにする。
③	20 (各10)	ア 4億(400000000) イ 12億(1200000000)	<b>知技</b> 数直線上の大きな数を読み取ることができる。	1目盛りの大きさが1億であることを確認する。
④	20 (各10)	① 64 ② 3兆 (3000000000000)	<b>知技</b> 億や兆の位までの大きな数の構成や記数法について理解している。	千万の位までの学習を想起し、数の構成や10倍すると位が1桁上がることは数が大きくなっても、同じ仕組みであることを確認する。
⑤	10 (各5)	① 617605 ② 1728000	<b>知技</b> 3桁×3桁や終わりに0のある乗法計算が筆算でできる。	2桁×2桁の筆算のしかたを想起させ、同様に位ごとに計算すればよいことを確認する。乗法九九や3桁数×1位数の計算を確実に定着させる。

### 第1単元 大きい数のしくみB

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① (順に) ①、② ② 54321 ③ 12345	<b>思判表</b> 十進位取り記数法の仕組みを基に、条件にあてはまる数をつくる方法を説明している。	実際に、数字をあてはめて考えられるようにする。右から4桁ごとに、万、億、兆と位が変わることを確認する。
②	日本の人口 ⑦ 中国の人口 ① 世界全体の人口 ⑤	<b>思判表</b> 数直線の1目盛りの大きさを読み取り、億の単位の大きい数を表している。	1目盛りの大きさを読み取り、日本の人口と世界全体の人口が何目盛りに近くなるか読み取ることができるようにする。

▶ 思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	7～5問	4～3問	2～0問

▶ 主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、学習の感想とさらに学習したいことの2観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、学習の感想とさらに学習したいことのどちらか1観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、学習の感想とさらに学習したいことが書かれていない。